

UTokyo **COMPASS** 

多様性の海へ： 対話が創造する未来

Into a Sea of Diversity: Creating the Future through Dialogue

東京大学が目指す理念と基本方針

UTokyo COMPASS の基本理念

対話から
創造へ

多様性と
包摂性

世界の誰もが
来たくなる大学

学知を生みだし、つなぎ、深め、卓越性と包摂性を実現

学術での卓越を実現するための、真理への探究心と学問の自由に根ざす研究
地球的な視野、高い倫理、粘り強い実践力、問いを立てる力を育む教育
多様な人間が集まり、課題の発見と共有と解決に取り組む場としての大学
地球規模の課題の解決へ貢献し、世界の公共を担うために創造的に自らの実践をデザイン
インクルーシブで自由なより良い未来社会の創造を目指す

対話が創造する未来

知るために問う



問いを共有する



ともに問う力



理解と信頼へ



多声の協奏

誰もが参加できる海洋観測プロジェクトOMNI

3つの視点 (Perspective)



PERSPECTIVE 1

知をきわめる

真理を探求、多様な学知を創出
公共性へ奉仕、透明性の確保
知の接続機能を持つ拠点、文理
の垣根を越えた連携
好奇心やひらめきを駆動力に、
対話を基礎に



PERSPECTIVE 2

人をはぐくむ

未来を築く卓越した人材を輩出
共感形成の能力を身につける教育
開かれたネットワークの中でしな
やかな対話力を
学生との対話や学生の参加を促進



PERSPECTIVE 3

場をつくる

多声性を活力とする場に、対話で包摂
構成員の多様性を重視、デジタル・イン
クルーシブキャンパスを実現
自ら起点となって社会との架け橋を創る
公共的な存在意義や機能への信頼と支持

3つの視点が好循環を生み出すには



新たな時代の大学という法人の自律性・創造性のあり方を検討
**自律的で創造的な活動の基盤となる
経営力を確立する**



大学の経営力とは

「創造的に自らの実践をデザインする力」

国から付託された従来の役割にとどまらない、財務・人事・制度などにとどまらない、学問の裾野を広げていくために必要な不断の改革や進化

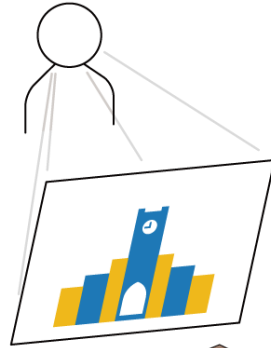
経営力を高める



大学の多様な教育研究活動と社会からの支持・支援を広げる
「公共を担う組織体」としての成長モデルを構築

3つの視点 (Perspective)

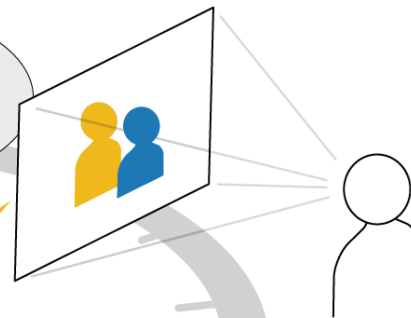
PERSPECTIVE 3
場をつくる



PERSPECTIVE 1
知をきわめる



PERSPECTIVE 2
人をはぐくむ



自律的で創造的な
大学活動のための
経営力の確立

20の目標



経営力の確立

1. 「自律的で創造的な大学モデル」の構築
2. 持続可能な組織体としての経営戦略の創出と大学の機能拡張
3. 大学が果たす役割についての支持と共感の増進



知をきわめる

4. 地球規模の課題解決への取組
5. 多様な学術の振興
6. 卓越した学知の構築
7. 産学協創による価値創造
8. 責任ある研究



人をはぐくむ

9. 包摂性への感受性と創造的な対話力をはぐくむ教育
10. 国際感覚をはぐくむ教育
11. 学部教育：専門性に加えて幅広い教養と高い倫理性を有する人材の育成
12. 大学院教育：高い専門性と実践力を備え次世代の課題に取り組む人材の育成
13. 若手研究者の育成
14. 高度な専門性と創造性を有する職員の育成
15. 大学と社会をつなぐ双方向リカレント教育の実施

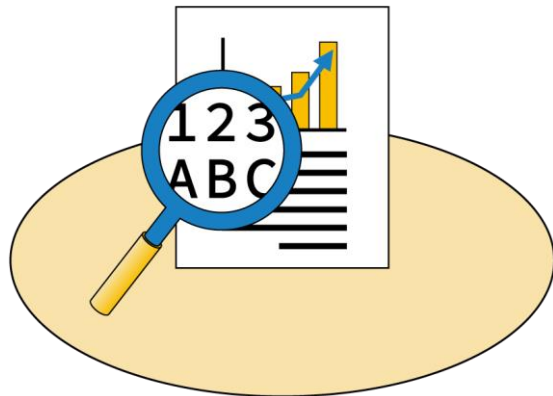


場をつくる

16. 安心して活動でき世界の誰もが来たくなるキャンパス
17. 教育研究活動の支援
18. サイバー空間に広がるキャンパス
19. 社会への場の広がり
20. 国際的な場の広がり

UTokyo COMPASS 

具体的な行動計画



新しい大学モデル



「自律的で創造的な大学モデル」の構築

財務経営本部(仮称)の設置、リーガルマネジメント体制の構築、リスクガバナンス体制の高度化



多様な財源の効果的な活用

1,000億円程度の法定基金(仮称)を創出、大学債の活用、東京大学基金の拡充(非目的指定寄附金: 2026年度末までに残高200億円を達成)



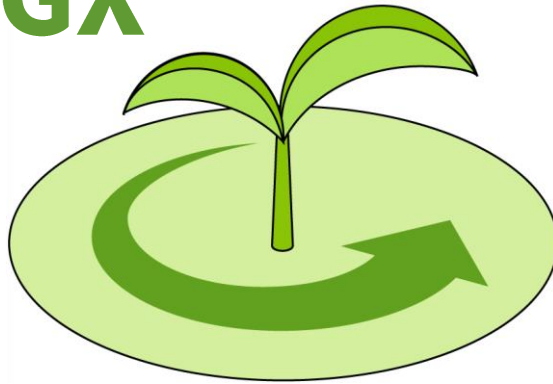
ブランド・レピュテーションの確立

コミュニケーション活動基盤の構築と展開、東京大学の新たなブランド確立、卒業生ネットワークの強化



具体的な行動計画

GX



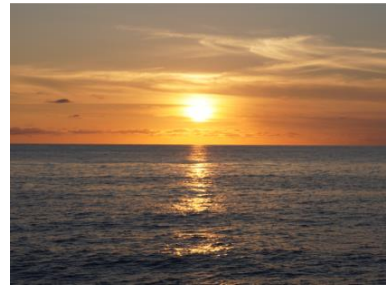
グリーントランス フォーメーション

GX: Green Transformation



国際的なGXを先導

グローバル・コモンズ・スチュワードシップ指標の作成、産学連携プラットフォームETHCGCを新たに組織、東京大学のCO2実質排出量を2030年度に2006年度比で半減、Race-to-Zeroに参加、GX本部(仮称)の設置



GXを先導する人材の育成

人類の共有財産としての地球システム(グローバル・コモンズ)に関する教育を実施、GXを先導する高度人材育成プログラムの推進



GXに資する地域・産業との協創

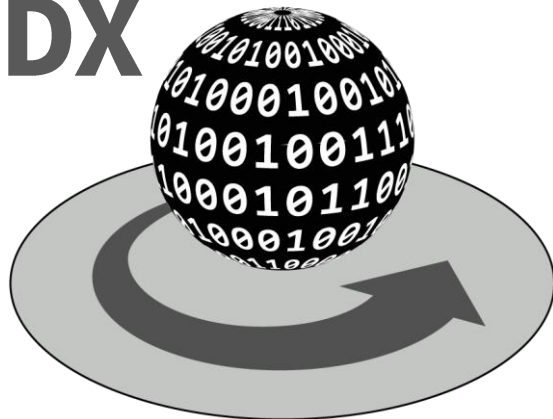
脱炭素の実現に向けた実行計画策定の支援、GXに資する先端研究領域における文理融合による産学協創の推進



UTokyo COMPASS

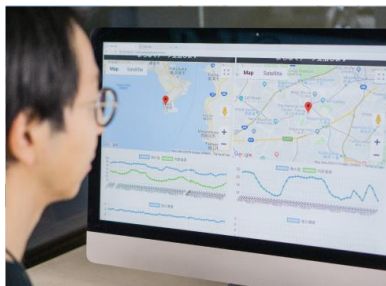
具体的な行動計画

DX



デジタルトランス
フォーメーション

DX: Digital Transformation



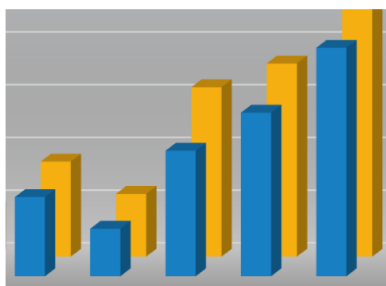
データ活用社会の創成と実践

医療・気象・社会・材料、災害予測、防災支援、SINET、mdx、DX本部 (仮称)による包括的DX推進



新しい教育システム・教育手法の展開 (教育DX)

オンライン授業の効果的実施、オンデマンド型授業・教材活用のためのシステム構築、キャンパスのインフラ整備



教育成果の可視化、UTokyo Oneの導入 (教育DX)

学習や活動の履歴と成果をデータで蓄積・可視化、教育改善サイクルの構築、卒業生との連携



データサイエンス・情報リテラシー教育

現代社会に必須の教養として全学生の受講を目指す



UTokyo COMPASS

具体的な行動計画



ダイバーシティ & インクルージョン



ダイバーシティとインクルージョンの推進
ダイバーシティ研究・教育推進機構(仮称)の設置、
ダイバーシティ&インクルージョン宣言を策定



多様性と包摂性に関する教育
2023年までに学部学生に対して実施、
後期課程や大学院へも展開



誰もが安心して学び、働き、活動できる場
インクルーシブキャンパスの実現、バリアフリー支援、
「世界の誰もが来たくなるキャンパス」



UTokyo COMPASS

具体的な行動計画



教育



「学術長期構想」の検討及び策定

ELSI教育、後期教養教育、部局横断型教育プログラム



包摂性への感受性と創造的な対話力を育む教育

多様性と包摂性、グローバル・コモンズ、情報リテラシーなどを広く学ぶ、2023年度までに学部学生に実施



学びを社会・世界と結ぶ

国際総合力認定制度、学生の国際的流動性の向上、体験活動プログラムの拡大、国際卓越大学院教育プログラムWINGSなど分野横断型プログラムの拡充



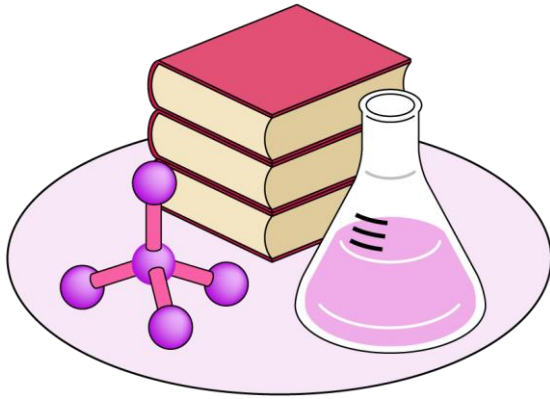
社会課題に取り組む研究教育の基盤強化

災害・少子高齢化・GX・DXなどの社会課題にとりくむプログラム、データ活用の教育基盤の整備



UTokyo COMPASS

具体的な行動計画



研究



卓越した多様な知の創出
人文・社会科学と自然科学の協働、国際的な研究拠点 (Kavli IPMU、IRCN、東京カレッジなど) の活動推進



博士課程学生への経済的支援
高度博士人材の育成をさらに推進、
博士課程学生への経済的支援率を早期に50%

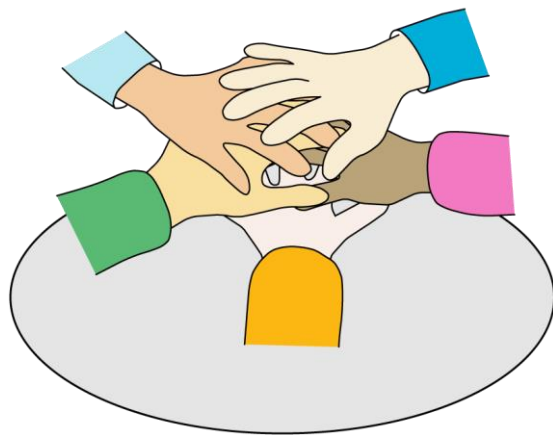


研究に専念できる環境の整備
研究支援部門を充実、
URAなどの研究支援スタッフの充実



研究大学としての国際的な存在感の向上
国際連携研究拠点の構築と強化、アジア研究、若手研究者の国際展開支援





社会との協創



産学協創による価値創造

共同研究200億円(年間)以上、人工知能、量子技術、次世代半導体技術、次世代サイバーインフラ:産学官民共同研究のゲートウェイ機能の強化



スタートアップエコシステムの構築

アントレプレナー教育、本郷インテリジェンスヒル(仮称)、600億円規模ファンドの設立、東京大学関連スタートアップを2030年までに700社創出



大学と社会をつなぐ双方向リカレント教育

リカレント教育エコシステムの構築、社会課題の抽出、地域の課題への取組、グローバル人材の育成



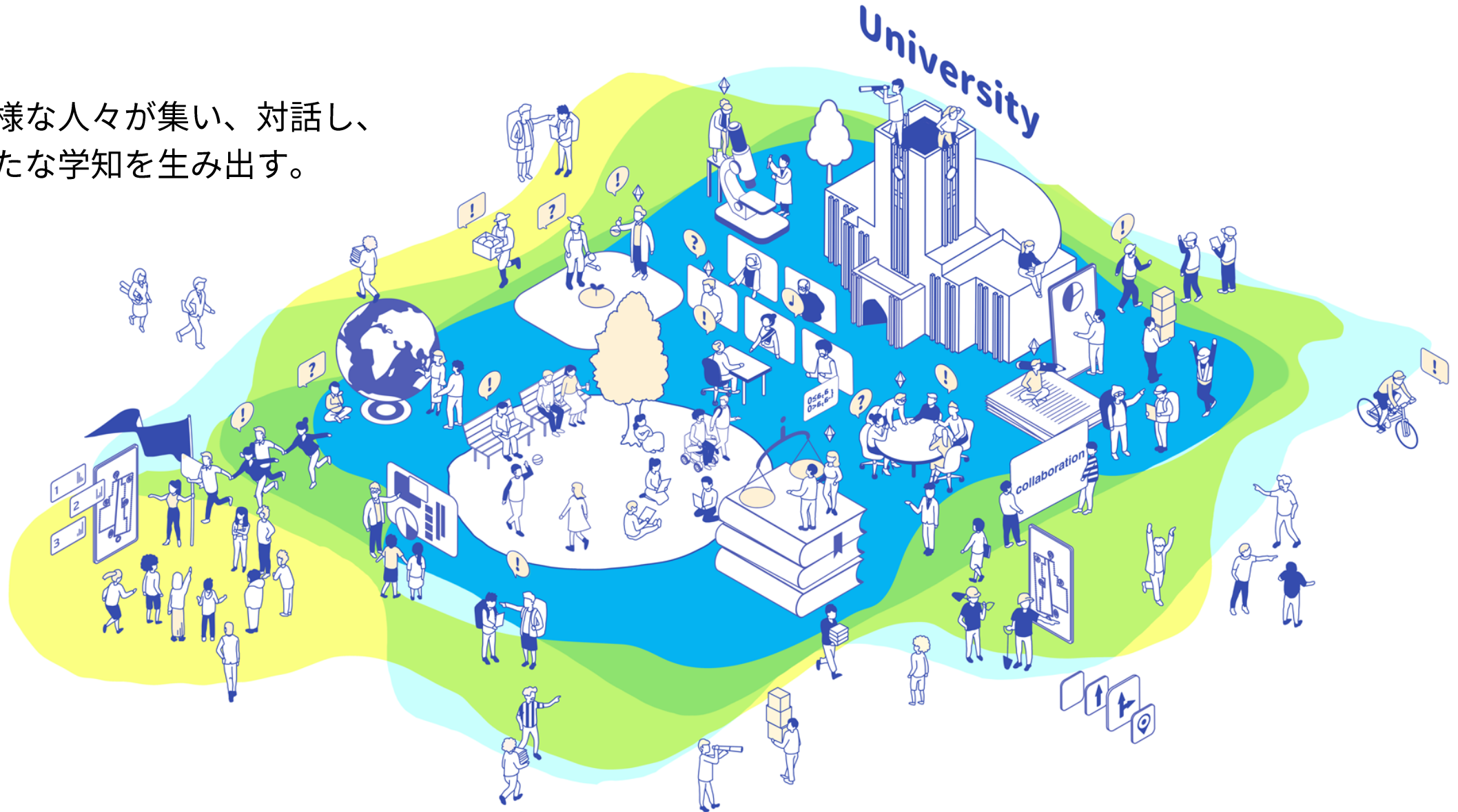
地球上の地域・言語圏の多様性を踏まえた発信

各言語圏に固有の文化の尊重、アジアからの視点をもつ研究の価値の発信

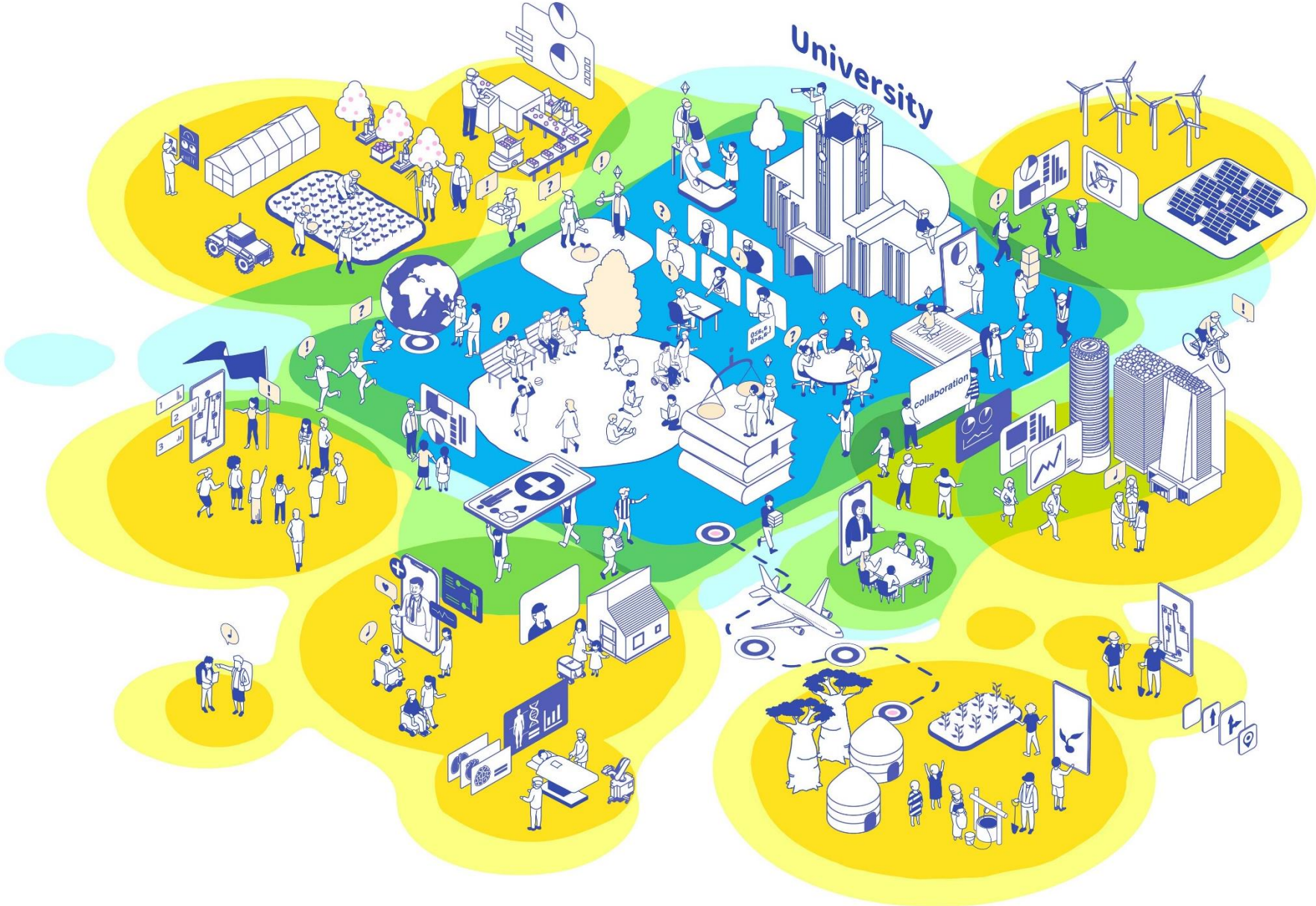


UTokyo COMPASS ▲ が描き出すこれからの東京大学

多様な人々が集い、対話し、
新たな学知を生み出す。



多様性に開かれた対話を通じてあるべき未来像を社会とともに創り上げる



UTokyo COMPASS 

多様性の海へ: 対話が創造する未来